

経過報告書全体にかかる検討事項

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
放射線医学研究所 計測・線量評価部
物理線量評価グループ
古渡 意彦

本稿において述べられている見解は、
量子科学技術研究開発機構の公式な見解とは無関係です。

経過報告書の現状

- 各章の原稿を受領
- 文章の平仄を修正及び事実関係確認
→事務局より個別にお伺いする予定

経過報告書に係る検討事項

- 一部の章について原稿未提出
- 経過報告書に「要点」、「提言」を加えるか
- 第2章表題について修正

経過報告書の構成及び目次案について

(令和4年3月23日現在)

経過報告書の要旨(←1ページ程度追記するか)

1. WGのスコープと活動方針
 - 1.1 WG設立趣旨、体制及び活動方針
 - 1.2 WGにおける検討課題
- 2 エックス線事故等の概要と〇〇の可能性(←要修正)
 - 2.1 国内外の放射線事故に関する公開情報
 - 2.2 大学等における放射線トラブルの事例
 - 2.3 日本製鉄で2021年5月29日に意図しない放射線曝露が発生したエックス線被ばく事故の概要
- 3 エックス線装置とそれらによる被ばくの特徴
 - 3.1 非破壊検査装置関係
 - 3.2 大学・研究機関におけるエックス線装置とそれらによる被ばくの特徴
 - 3.3 学校教育現場
- 4 安全文化に関する検討
 - 4.1 エックス線被ばく事故の再発防止の観点からの検討
 - 4.3 「職場の安全サイト」[1]労働安全取組
 - 4.4 ウラン加工工場(JCO)臨界事故の教訓
- 5 今後の検討課題
 - 5.1 エックス線装置の規制
 - 5.3.1 エックス線被ばくに関する線量評価 (項目として分割するか、5.3項としてまとめるか)
 - 5.3.2 線量測定及び被ばく線量再構築時の課題
 - 5.4 エックス線被ばくに関する放射線影響

附属資料
報道例

- ・経過報告書に「要点」、「提言」を加えるか
 - 読みやすさを考慮すると、「要点」があるほうがよい。
 - 経過報告書で「提言」は記載できるか？

- ・第2章表題について検討
 - 要修正

「放射線事故等の公開情報及びエックス線事故等の概要」

ご清聴ありがとうございました



量子科学技術研究開発機構(QST)は、量子科学技術による「調和ある多様性の創造」により、平和で心豊かな人類社会の発展への貢献を理念とし、「世界トップクラスの量子科学技術研究開発プラットフォーム」の構築を志します。

■ QSTホームページ : <http://www.qst.go.jp/>

■ QST未来戦略2016: <http://www.qst.go.jp/about/welcome/plan2016.html>